

冷氣涼風の取り込み－高気密だからできる技

夏の②

図①

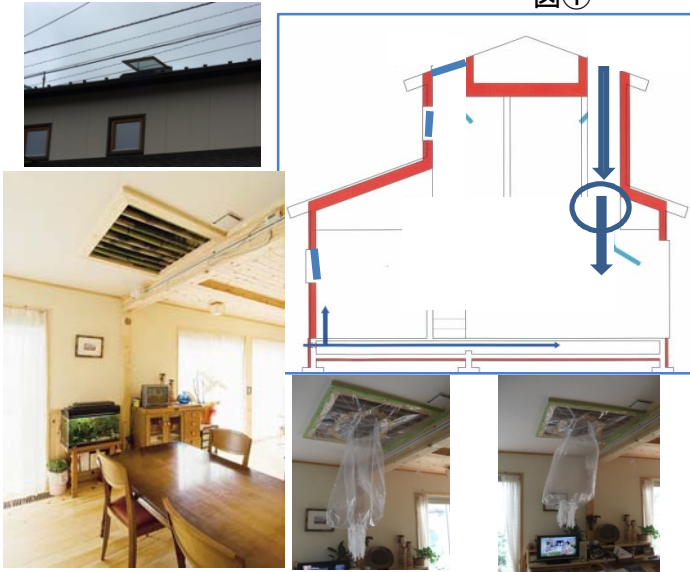


写真1(上)
写真2(下)

写真3

写真4

前回、天窓を開けておいただけで夜間や明け方冷たい風が入ると書いたが、今回は強制的にどれだけ入るか測定結果を報告。

写真1→2階の天窓から1階の天井まで筒状に抜けていて、図①のように屋根上から冷氣を入れようとしている。入っていることを目視できるように出口をつくったビニールの袋で入り口を覆った(写真3,4)

写真3→天窓が閉じられていれば空気は動かず袋もしぼんだまま動かない。

次に写真②の換気扇を稼働させる。風量測定器で排気される量を測定すると216m³/hと表示される。(測定器コーナー札幌機KNS-300)

天窓を開け、換気扇が回ると袋がパンパンに膨れるて、外気が勢いよく入って来るのがわかる。(写真5)
この流量を測定する(写真8)と62m³を表示する。(写真9)

夜間の冷氣を積極的に取り込むこともできるばかりではなく、62m³/hの風をこの部分に起こすこともできるのだ。

高気密だからできる技。
一度は試す価値がある。

(追)開ける窓を一カ所に集中して、換気扇(計画換気で付けたものだけではダメ)を回すと、うれしくなるほど風が入ります。高断熱高気密住宅に住んでいる人は家中の換気扇を回して試してみてください。



写真5(下)



写真6



写真7



写真8



写真9

